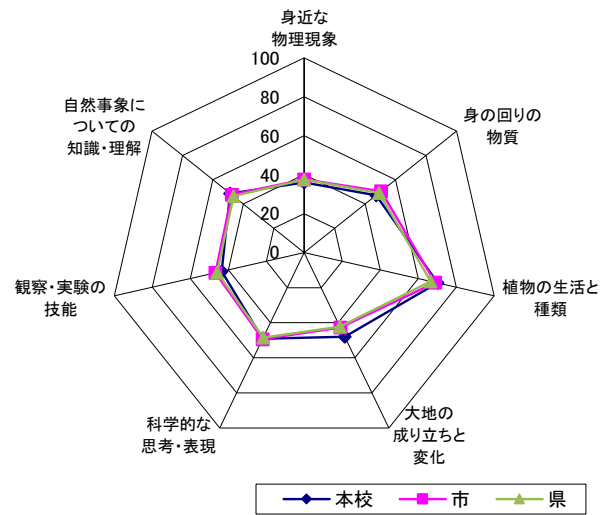


宇都宮市立鬼怒中学校 第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	身近な物理現象	36.0	37.6	37.5
	身の回りの物質	47.2	50.5	49.1
	植物の生活と種類	70.2	69.0	66.6
	大地の成り立ちと変化	47.9	42.7	42.2
観点	科学的な思考・表現	49.1	49.4	48.5
	観察・実験の技能	43.5	46.8	45.9
	自然事象についての知識・理解	48.7	47.6	46.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
身近な物理現象	●グラフを作図する問題では、類型にないその他の解答・無回答が84.8%。授業中にグラフの書き方を丁寧に説明し、身につけさせる。 ●物体により机にはたらく圧力を計算する問題では、無回答が21.1%、正答率4.2%。	・授業中にグラフの書き方を丁寧に説明し、身につけさせる。 ・物体により机にはたらく圧力を計算する問題に取り組む時間を取り、定期的に計算問題にふれる。
身の回りの物質	●質量と体積を基に、密度を求める問題では、正答率は40.0%。その他の解答30.0%、無回答28.9%。質量パーセント濃度を求める問題では、正答率14.7%、その他の解答が40.0%、無回答が38.4%。	・質量と体積を基に、密度を求める問題、物体により机にはたらく圧力を計算する問題に取り組む時間を取り、定期的に計算問題にふれる。
植物の生活と種類	○県、市の平均を上回っている。 ●活用の問題ではA層とD層の差が大きい。	・全体的に基礎の問題はできているため、活用の問題の解説を重点的に行い、活用の力をつけさせる。
大地の成り立ちと変化	○県、市の平均を上回っている。 ●火山と地震の問題ではA層とD層の差が大きい。D層の回答率は、花こう岩のつくりは0.0%、花こう岩のでき方については2.6%。	・花こう岩のつくり、でき方について忘れてしまっているとされるため復習する時間をとる。